



40th ANNIVERSARY
開館40周年
岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和4年12月20日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
岐阜県美術館	学芸係 教育普及係	齋藤 智愛 橋本 浩典	直通 058-271-1314 FAX 058-271-1315

「アートまるケット 知るもしるもしル」を開催します

県美術館ではこのたび、「アートまるケット 知るもしるもしル」を開催します。

2015年からスタートした館長日比野克彦のディレクションによる「アートまるケット」は、岐阜の言葉で「まみれる」を意味する「まるけ」と「マーケット」に「アート」を結び付け、「アートまみれ」にしようとする企画です。

今回は、「知る」をテーマに2組のアーティスト、L PACK. と plaplax を迎え、展示室と庭園を使いリアルへとリスタートするためのプロジェクトを展開します。

作家たちは県内各地へ赴き、自身の目で、肌で岐阜の姿にふれました。彼らのまなざしを通じた表現領域にとらわれることのないハイブリッドな「岐阜のかたち」を紹介します。

1 会 期 令和5年1月17日(火)～3月19日(日)

10:00～18:00

※夜間開館：企画展開催期間中の毎月第3金曜日は、20:00まで開館

※展示室の入場は、閉館の30分前まで

※休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

2 場 所 岐阜県美術館(岐阜市宇佐4-1-22)

3 観覧料 無料

4 主 催 岐阜県美術館

5 協 力 県立多治見工業高等学校専攻科
多治見市陶磁器意匠研究所
名古屋造形大学

6 調査協力 オークヴィレッジ株式会社
株式会社飛驒の森でクマは踊る
ぎふ木遊館
中津川市鉱物博物館
美濃歌舞伎博物館 相生座

7 後 援 岐阜県教育委員会



L PACK. 《金華山から見る長良川》2022年



plaplax 《イシムシの標本》2011年

■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、予定を変更する場合があります。
事前に岐阜県美術館 Web サイトでご確認ください。

■ 作家紹介

[L PACK. (エル パック) : おだぎりすすむ なかしまてつや 小田桐奨、中嶋哲矢]

共に1984年に生まれ、静岡文化芸術大学空間造形学科卒。アート、デザイン、民藝などの思考や技術を横断しながら、最小限の道具と現地の素材を臨機応変に組み合わせた「コーヒーのある風景」をきっかけに、まちの要素の一部となることを目指す。

2007年より活動をスタートさせ、主な活動に「竜宮美術旅館」(横浜/2010-2012)、「UCO」(アッセンブリッジ・ナゴヤ/2016他)、「新生活のスイッチ」展 (ATELIER MUJI/2017)、「定吉と金兵衛」(フェスティバル/トーキョー/2018)。ほか、美しい生活のパートナーとなる「日用品」を扱うショップ・ギャラリー「DAILY SUPPLY SSS」(東京/2017～)を運営する。

[plaplax (プラプラックス) : ちかもりもとし かけひやすあき 近森基、寛康明]

2000年頃より多分野のクリエイターとコラボレーションを開始。インタラクティブな作品をベースに、テーマやモチーフの中に潜む物語を掘り下げ、様々なメディアを使い、新しい発見や学び、ワクワクする体験の創造に取り組む。

主な発表に「イマジネイチャー」(大垣市スイトピアセンター/2015)、「Ombres et lumière」(ポンピドゥー・センター/2005)、「文化庁メディア芸術祭」(東京/1998他)、「Ars Electronica」(アルス・エレクトロニカ・センター他/1997他)など、国内外で活動。また「Imaginature」をテーマにメディアアートの視点、手法で心象自然をスケッチする活動など、さらにその領域を広げている。

ご来館のみなさまへお願い

岐阜県美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全に配慮した取り組みを行なっています。

- ・発熱、咳などの風邪症状がある方、体調がすぐれない方は来館をお控えください。
- ・入館にあたり、マスクの持参・着用、こまめな手洗い・消毒、来館者同士の距離の確保にご協力ください。

※問い合わせは、岐阜県美術館 (058-271-1313) にお願ひします。

※その他の催し物については、岐阜県美術館 Web サイトをご確認ください。

(<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>)

岐阜県美術館

検索 